

2024年度

事業計画書

収支予算書

資金調達及び設備投資の見込み

自：2024年4月 1日

至：2025年3月31日

公益財団法人 栢森情報科学振興財団

2024年度 事業計画書

自：2024年4月 1日

至：2025年3月31日

当財団は、これまで研究助成とフォーラム・シンポジウム等開催助成を中心に、情報科学分野の研究活動に対し、過去28年にわたって累計 6億6245万円を助成してきた。本年もその方針を維持しつつ、助成事業を中心に置き、情報科学の振興を図り、学術の発展に寄与していく。

公益目的事業

公益目的事業1

助成事業

1. 研究に対する助成

大学等、公的研究機関などそれらに属する研究者が行う情報科学に関する研究に対し、次により研究費の助成を行う。

(1) 研究助成金額

予算総額 2,000万円

(2) 助成対象研究の募集及び選考

大学等、公的研究機関などそれらに属する研究者等から情報科学に関する適切な研究テーマを募集し、その中から選考委員会において研究助成対象者を選考する。

(3) 募集期間

2024年6月1日(土)～2024年8月31日(土)

決定は2024年11月中旬。

※ 「2024年度 研究助成要綱」は後頁

2. 国際会議、学術講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー、研究集会及び研修会の開催に対する助成

(1) フォーラム・シンポジウム等開催助成

予算総額 200万円

(2) 募集及び選考

国際会議、学術講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー、研究集会及び研修会を募集し選考する。

(3) 募集期間

2024年6月1日(土)～2024年8月31日(土)

決定は2024年11月上旬。

※ 「2024年度 フォーラム・シンポジウム等開催助成要綱」は後頁

公益目的事業 2

フォーラム等開催事業

講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー研究集会及び研修会の開催

「第22回 Kフォーラム」開催

日時 2024年8月8日(木)～10日(土)で開催予定(2泊3日)

場所 ホテルアソシア高山リゾート

表題 ざっくばらんフォーラム「AI・ロボットと共に棲む社会のデザインは如何に」

予算 500万円(事前・事後事務経費全て含む)

【趣旨】

AI技術とそしてAI技術が可能にする新しい技術が人々の社会と生活の中心に一気に流れ込んできています。チャット型生成AIのマルチモーダル化は、テキストだけでなく音声、画像や動画を統合し、より複雑かつリアルタイムの対話を可能にしています。教育、エンターテインメント、顧客サービスなど、幅広い分野で応用が進んでいます。さらには、プログラムコード、作業手順書や業務プロセス設計書なども生成可能にしました。ビジネスプロセスの自動化や意思決定のサポートなど、企業活動においても広く活用されようとしています。

本フォーラムでは、このようなAI技術の最新動向と社会への影響を掘り下げ、AIと共棲する未来社会をデザインし構築していくために必要な技術的、倫理的、社会的な課題について、深い議論を繰り広げたいと思います。

AIとAIが造り出すAI技術の信頼性や道德性の議論をするとき、技術を使う人間の道德という考えを乗り越えて、人間と技術の相互作用の中にある道德として考えるのも一つでしょう。

技術的視点での議論の一つは、「物理的実態である複数のシステムが、動的に変化する物理的環境との相互作用のもとで複雑な振る舞いを行うことを通して与えられたタスクを完遂するための学術上の問題点を示し、その解決法を明らかにすること」でしょう。これは、1997年1月開催の第1回Kフォーラム「ロボカップウインターフォーラム：技術的課題とその将来展望」で、ロボカッププロジェクトの学術上の普遍的意義として提議された課題です。それから積み重ねられてきたロボカップは、ロボットとAIの進化を具体的に示す舞台となっています。チームワーク、戦略、自律性など、AIとロボット工学の複数の側面を統合し、それらが人間の活動とどのように連携できるかを探求しています。

ざっくばらんに、最新の話題の提供と課題の本質に迫る討論を展開し、AI技術がもたらす潜在的な可能性と課題を理解し、人間と技術と環境の相互作用が織りなす社会の洞察を共有するフォーラムとしたいと思います。

公益目的事業 3

機関誌、論文集刊行及び啓蒙事業

出版物の編集及び刊行等

- ・財団機関誌(K通信)を6月(No.55)と12月(No.56)に発行する。
- ・財団機関誌の配布及びホームページへの掲載などの啓蒙活動の実施。

その他

1. 公告・情報公開

情報公開や情報発信、機関誌の掲載などホームページの内容を充実させるなど、ホームページを活用した活動を行なう。

2. 特定費用準備資金

設立30周年(2025年度)に向け、記念事業実施のための積立を行なう。計画は、5,000万円を積立。2024年度は500万円の積立。

3. ロボカップジュニアジャパンオープン後援

ロボカップジュニアジャパンオープン 名古屋大会の後援として、継続支援を行う。予算は100万円。法人会計雑費とする。

以上

2024年度 研究助成要綱

公益財団法人 栢森情報科学振興財団

1. 助成研究の適格要件

次の各号の要件を満たすもの

- (1) 情報科学に関する学術的發展に寄与する研究であること
- (2) 研究の計画および方法が、目的を達成するために適切であり、かつ十分な成果を期待し得るものであること
- (3) 研究を実施する者（研究実施者）が、研究を計画に従って遂行するに足る能力を有すること

2. 研究テーマ

情報に関する科学の基礎的・萌芽的または総合的研究

3. 研究助成金の限度額

助成総額 2,000万円 （1件あたり最高200万円まで）

4. 助成研究募集期間

2024年6月1日（土）～2024年8月31日（土）

5. 研究助成金の交付決定

2024年11月中旬の予定

6. 研究助成の対象となる経費

助成の対象となる経費は、研究者本人の人件費（給料等）以外の経費とし、機械器具装置の購入費や賃借料、旅費、消耗品費、謝金等が含まれる。

7. 研究完了日

研究助成金交付決定後2年以内

8. 助成研究の選考・決定方法

- (1) 当財団の選考委員会において、応募者から提出された研究助成金交付申請書に基づき、厳正に選考し助成額を決定する。
- (2) 応募者の機会均等化を期するため、助成された方は、原則としてその年度以後3年間は、選考の対象とされない。

9. 研究助成金の交付

- (1) 研究助成金の交付は、前払いの方法により行われる。
- (2) 交付された助成金は、研究の成功不成功にかかわらず、その返還を求めないこととする。ただし、助成研究実施計画書に記載した研究が実施されなかった場合、および研究実施者が当財団の規定等に違反した場合には、研究助成金の一部または全部を返還していただくことがある。

10. 報告書等

- (1) 助成研究が完了したときは、研究実施者は、助成研究完了の日から30日以内に完了報告書を提出しなければならない。
- (2) 助成研究計画を中止しようとするときは、当財団に届け出て指示を受けねばならない。

11. 助成研究成果の帰属

助成研究によって取得された知的財産権は、研究実施者に帰属することとする。ただし、助成研究成果を特許、実用新案または意匠登録として出願し、その後、特許権、実用新案権または意匠権を取得したときは、速やかにその旨を当財団に届け出ねばならない。

また、当財団は「特許庁長官指定学術団体」として指定されているので、当財団が主催または共催する研究集会で文書で以って研究成果を発表した場合であつて、その発表後6ヶ月以内にこれにつき特許、実用新案の出願をしたときは、その発明または考案は新規性喪失の例外とされている。この適用を受けるには、当財団の証明書が必要となるのでその旨を申し出られたい。

12. 助成研究の成果の発表

- (1) 助成研究の成果については、当財団の機関誌等への掲載または講演会等における発表などをしていただくことがある
- (2) 研究実施者は、助成研究の成果を学会等で発表する場合には、当該研究が当財団の助成を受けて実施されたものである旨を明示されたい。

以上

2024年度 フォーラム・シンポジウム等開催助成要綱

公益財団法人 栢森情報科学振興財団

1. 応募条件

情報科学に関する学術的発展に寄与する国際会議、学術講演会、フォーラム、シンポジウム、セミナー、研究集会・研修会であって、2024年12月1日から2026年3月末までの間に開催されるものであること。

2. 助成金の限度額

年度内助成総額 200万円 (1件あたり最高100万円まで)

3. 募集期間

2024年6月1日(土)～2024年8月31日(土)

4. 助成対象となる経費

- (1) 謝金、旅費、会場費、人件費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等。
- (2) 申請書の予算内容欄には、当財団からの助成分のみでなく予算の総額について、記入されたい。

5. 選考・決定方法

- (1) 当財団の選考委員会において、応募者から提出された助成金交付申請書に基づき、厳正に選考し決定する。
- (2) 助成額は、選考委員会の選考結果に基づき決定される。
- (3) 応募者の機会均等化を期するため、採択された団体等は、原則としてその年度以後3年間は、選考の対象とされない。

6. 応募方法

- (1) 申請書は実行責任者を通して提出してください。
- (2) 申請時、内容について未定事項のある場合はその旨を付記されたい。

7. 選考結果の通知及び助成金の交付

- (1) 選考委員会の選考結果は2024年11月上旬に通知する。
- (2) 助成金は、開催が確定している場合は、請書等所定の書類の受理により、ただちに指定された金融機関口座に送金する。

8. 開催後の報告書提出

- (1) 終了後3ヶ月以内に報告書を提出されたい。
- (2) 支出については、領収書があればコピーを添付されたい。
- (3) フォーラム・シンポジウム等開催の資料は申請時に添付するほか、関連印刷物を発行する場合は送付されたい。

以上

資金調達及び設備投資の見込み
(2024年4月1日～2025年3月31日)

1. 資金調達の見込みについて
当年度において、借入は予定していない。
2. 設備投資の見込みについて
什器備品（OCR スキャナー、電子データ保存のための電子機器、ソフトウェアなど）約 100 万円を予定している。